



報道関係各位

2017年3月20日（月）
NPO 法人日本ブラインドサッカー協会

「さいたま市ノーマライゼーションカップ 2017」を開催 日本の黒田智成がゴールするも、1-4に終わる ～さいたま市ノーマライゼーションカップ初の来場者1,000名超え～

平素より、ブラインドサッカーにご厚意を賜り厚く御礼を申し上げます。

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会（以下、JBFA）は、3月20日（月・祝）にさいたま市と5回目となる「さいたま市ノーマライゼーションカップ 2017」を共催いたしました。ブラインドサッカー日本代表（世界ランキング8位）はパラリンピック4連覇中のブラジル代表（世界ランキング1位）と対戦し、1-4に終わりました。

前半7分にブラジルのマルコス・アウヴェスが先制。16分に日本の黒田智成が豪快なゴールを決め同点に追いつくも、20分にハイムンド・メンデスが追加点を決め、1-2で前半を終了。後半は、日本は健闘するも押し込まれる場面が多く、16分にメンデスが本日2点目を、さらに19分にアウヴェスも2点目を決め、1-4でブラジルが勝利しました。MVPにはブラジル代表のハイムンド・メンデスが、MIPには日本の黒田智成が選ばれました。

会場では、ブラインドサッカーの試合だけでなく、大宮アルディージャによるサッカー教室、ダンスパフォーマンス、12歳で盲目のわたなべちひろさんによるキーボードの弾き語り、チアリーディングや、ブラインドサッカー体験会、各種啓発ブースなども併催して開催され、会場は健常者も障がい者も含めた多くの観客でにぎわいました。

また、JBFA初の試みとして、パナソニック株式会社（大阪府門真市・代表取締役社長 津賀一宏、以下パナソニック）と「来場者向け観戦ソリューションの実証実験」を実施し、競技場内で自由にカメラアングルを選択できるモバイル動画配信を行ったほか、182型大型LEDディスプレイ、リボンボードLEDを活用しリアルタイムで競技解説を行いました。同じく初の試みとして、JBFA公式FacebookでLIVE動画を配信した結果、シェア100件、ビュー7,413件、リーチ3,1261人となりました。また、本試合はBS日テレ「ストロングポイント特別版」で4月8日（土）に録画放送を予定しております。

JBFAは2020年の東京パラリンピックでメダルを獲得することを目標としており、今回の経験をもとにさらなる高みを目指す、ブラインドサッカー日本代表を今後とも、応援よろしく願いいたします。

高田敏志監督 コメント

「去年の6月はがむしゃらにぶつかって行くだけだったが、今回のあの1点は狙っていたことができたので、選手も手応えを感じていると思う。ブラジルとは10回やって1回勝てればいい。そのハイレベルな瞬間をパラリンピックに合わせれば、必ず勝てます。」

川村怜 コメント

「今やっていることは間違いではない。ただ失点したことはとても悔しい。あと一歩二歩早く出られれば失点は防げた。ハイレベルな相手に対して、もっとプレッシャーを与え、1対1で戦えるようにな



りたい。今年アジア選手権があるので、必ずチャンピオンになって世界に挑戦し、その先の東京パラリンピックの決勝戦でブラジルとあたり、勝てるようなチーム作りをしていきたい。」

●「KPMG カップ ブラインドサッカークラブチーム選手権 2017」のご案内

ブラジル代表は、国内の地域リーグのトップチームと対戦する「KPMG カップ ブラインドサッカークラブチーム選手権 2017」【3月25日（土）・26日（日）開催】にも同じメンバーで参加することが決定しており、世界最高峰の試合を引き続き取材いただくことができます。こちらの取材申請の概要は文末のリンクからご覧になれます。

（「KPMG カップ ブラインドサッカークラブチーム選手権 2017」取材申請書：

<http://www.b-soccer.jp/medias/2017/03/PR170302clubchampionships.pdf>）

●録画放送予定

日時：2017年4月8日（土） 17～18時

番組名：BS日テレ「ストロングポイント特別版 ブラインドサッカー日本代表 vs ブラジル代表」

<http://www.bs4.jp/strongpoint/index.html>

●本日の来場者数

入場者数：約1,200人

イベント関係者：34人

ボランティア：37人

報道関係者：81人（中継スタッフを除く）

■過去試合との比較データ■

対ブラジル

<対象試合>

2014年：フレンドリーマッチ 2014年11月9日 宮城県仙台市 0-4

2016年：ブラジル遠征 2016年6月3日 ブラジル・リオデジャネイロ 0-5

2017年：本試合

局面	データ項目	2014年	2016年	2017年	集計定義および補足
攻撃	シュート数(本)	9	7	9	相手選手(キーパー以外)にブロックされた場合も含む
	ゾーン①攻撃(進入)回数(回)	13	9	24	ゾーン②③からゾーン①へ進入してボールを触った回数
守備	ゾーン①ボール奪取回数	0	0	3	-
	ゾーン②ボール奪取回数	9	10	14	-
	ゾーン③ボール奪取回数	6	6	11	-
切替	ルーズボール発生回数	-	-	83	ルーズボール後もプレーが続いたシーンに限定
	ルーズボール後マイボール率	24%	28%	47%	-

協力：データスタジアム株式会社

本件に関するお問い合わせ

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会 事務局

E-mail: media@b-soccer.jp 協会ウェブサイト: <http://www.b-soccer.jp>

住所：〒169-0073 東京都新宿区百人町1-23-7 新宿酒販会館2階

電話：03-6908-8907 FAX：03-6908-8908